

まつやま 広報

主な内容 No.1283

- 保育園入園の申し込み……………3面
- 人権特集……………4面
- 成人式開催……………5面
- 市民ガイド……………7～9面



発行：松山市役所／編集：総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎ 948-6705 FAX 934-2578 HP <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

市勢 平成26年11月1日 現在推計(前月比) ■面積:429.06㎢ ■人口:516,555人(+96) ■男:241,142人 ■女:275,413人 ■世帯数:231,933世帯(+217) ■1世帯の平均:2.23人 ■人口密度:1,204人/㎢

みんなのひろば



みんなのひろばで思い思いに過ごす人たち



ミニ噴水や手押しポンプの水は地下水を利用

まちなかの憩いの空間にオープン

両施設は、大学生や市民が主体となって中心市街地のにぎわい再生に取り組み、社会実験として、平成28年2月末まで開設する予定です。

みんなのひろばは、子どもから大人まで楽しみ、憩えるスペースとして、UDCMは自由に休憩や読書を楽しんだり、さまざまなまちづくり活動の場として利用できます。

自由に使え、この施設で、あなたなりの楽しみ方を見つけたいませんか。

今後は両施設を拠点に、まちづくりの担い手を育成する「アーバンデザインスクール」を開催するほか、皆さんの利用状況を確認しながら、どんな活用ができるかを市内の大学や地域の人たちと検討していきます。

まちづくりの拠点施設や、まちなかの憩いの場として11月1日、「みんなのひろば」と「松山アーバンデザインセンター(UDCM)」が湊町三丁目オープンしました。

松山アーバンデザインセンター



ミーティングなどにも使えます



絵本や展示などもありますので、気軽にお入りください



みんなのひろば
ミニ噴水、土管、手押しポンプ、ベンチなどを設置しています。

松山アーバンデザインセンター 1階多目的スペース
多目的トイレ・女子トイレ、テーブル、椅子などのほか、展示や絵本も置いてあります。

利用時間 月～金曜日 10:00～20:00
土・日曜・祝日 10:00～18:00

お休み 12月29日～翌年1月3日

ご利用に関するお問い合わせは、松山アーバンデザインセンター ☎968-2920へ

読者プレゼント



丸岡いずみさんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 広報課「丸岡いずみプレゼント」係

はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、12月15日(必着)までにお送りください。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます

「仕事を抱える人やその家族へメッセージを」
仕事では自分を偽らず、自然体でのびのびとやることを心掛けています。プライベートではベランダで植物を育てたり、近所にある大きな植物園で散歩するなど、自然と触れ合う時間を大事にしています。

「悩みを抱える人やその家族へメッセージを」
うつ病における自殺衝動は、風邪でいう「鼻水」みたいなもので、症状として出てしまいます。だから「自殺したい」と打ち明けられた家族はそれを叱るのではなく、「話してくれてありがとう」という言葉を掛け、注意深く見守ってあげてください。また、うつ病などの悩みはなかなか家族に相談しにくい場合もあると思います。普段から家族以外にも気軽に相談できる人を持つように心掛けてほしいですね。

家族以外にも相談できる人を

「一うつ病」を克服したそうですが、発病のきっかけは東日本大震災の取材です。被災地は電気やガスなども無く、凄惨な光景が映る厳しい環境でした。その後不眠症になりながらも仕事を続けていましたが、ニュース原稿の簡単な言葉にもふりがなを打つようになり、これはおかしいと、休養を決定し徳島へ帰りました。しばらくは自分がうつ病だと受け入れられず、なかなか良くなりませんでした。入院して治療に専念してからは、家族の支えもあって次第に回復していきました。

「一うつ病」を克服したそうですが、発病のきっかけは東日本大震災の取材です。被災地は電気やガスなども無く、凄惨な光景が映る厳しい環境でした。その後不眠症になりながらも仕事を続けていましたが、ニュース原稿の簡単な言葉にもふりがなを打つようになり、これはおかしいと、休養を決定し徳島へ帰りました。しばらくは自分がうつ病だと受け入れられず、なかなか良くなりませんでした。入院して治療に専念してからは、家族の支えもあって次第に回復していきました。

こんにちは松山

フリーキャスター
まるおか 丸岡いずみさん



1971年生まれ。徳島県出身。94年に北海道文化放送に入社。01年に日本テレビ報道局に中途入社。報道記者として社会部警視庁捜査1課を担当。現在は日本テレビを退社し、フリーとして活動。